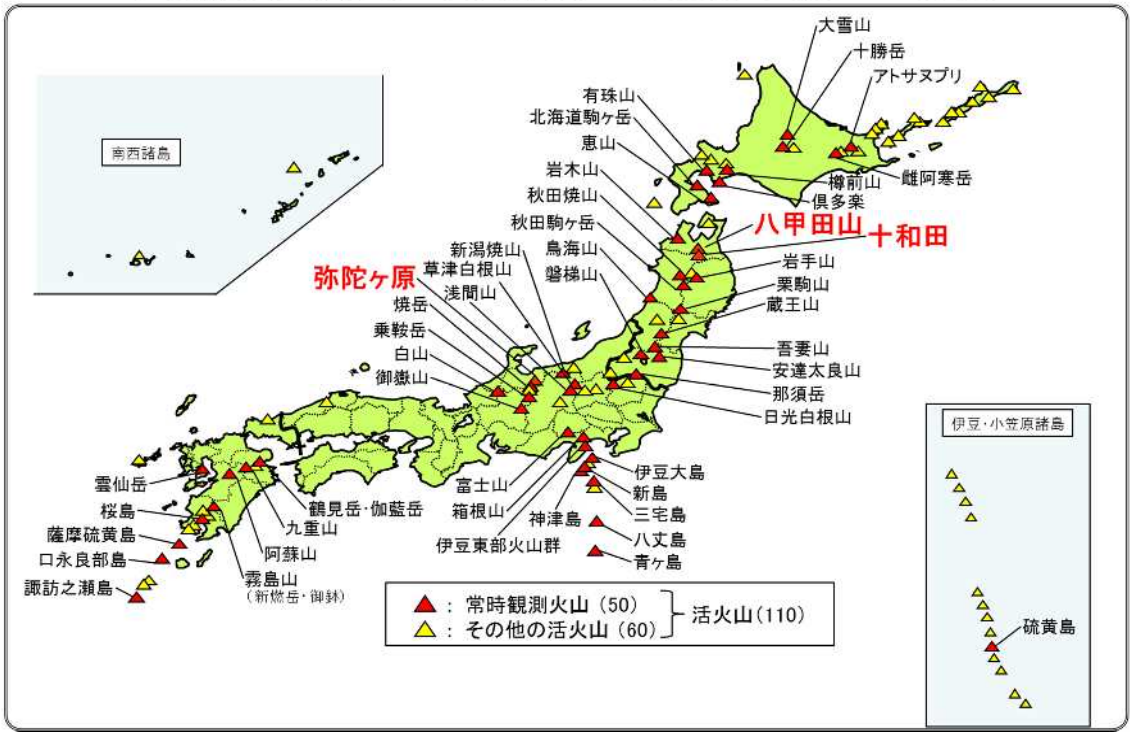
報 道 発 表 資 料
平成 28 年 11 月 17 日
気　　象　　庁

八甲田山、十和田、弥陀ヶ原を常時観測火山に追加します

平成 26 年９月の御嶽山の噴火を受け行われた火山噴火予知連絡会「火山観測体制等に関する検討会」において、近年の火山活動の高まりがみられた八甲田山（はっこうださん）、十和田（とわだ）、弥陀ヶ原（みだがはら）の３火山を常時観測火山（気象庁が火山活動を 24 時間体制で監視している火山）とするよう提言を受けました。

気象庁では、これら３火山を常時観測火山とするために、各種火山観測装置の整備を進めてきました。今般、これら観測装置の整備が完了し、常時観測する体制が整ったことから、平成 28 年 12 月１日より、これら３火山を常時観測火山に追加し、常時観測火山を 50 火山とします。

常時観測火山（気象庁が火山活動を24時間体制で監視している火山）



本件に関する問い合わせ先：気象庁地震火山部火山課
電話：03-3212-8341（内線：4602）